

「日本鍼灸師会 全国広報普及部長会議のご報告」

文責 長谷川栄一

日 時：平成25年7月14日、11時～16時

場 所：日本鍼灸会館

参加者：26名（17師会）

1. 各県師会の広報普及活動について

① 鍼灸ボランティア活動について

以前は、鍼灸とマッサージを一緒に行っていた師会が多かったのですが、今年度の報告では、鍼灸単独でボランティア活動を行っている師会が殆どでした。

② 鍼灸体験コーナーについて

各師会が様々な健康フェスティバルで行っている「鍼灸体験コーナー」において、殆どの師会で鍼灸経験者よりも鍼灸未経験者の人たちの方が多かった、という報告がされました。

③ 鍼灸のキャラクターについて

大阪府鍼灸師会が企画作成した、ゆるキャラ「おはりん」が、紹介されました。

④ 市民公開講座について

殆どの師会で、一般市民向けの公開講座を行っていました。

⑤ 親子スキンタッチについて

いくつかの師会で、マスコミに取り上げられやすい「親子スキンタッチ」や「親子ふれあい教室」について報告と、その時の新聞記事がほうこくされました。

⑥ 接触鍼の活用について

奈良県では、鍼への恐怖感をなくす目的で、まずは接触鍼による鍼の体験コーナーを開催したところ、例年60人くらいだった来場者が100人に増えたとの事でした。

2. セミナー「伝わる冊子の作り方」

午後1時から、午後2時にかけて、フリーライターの石塚勝利氏が「伝わる冊子の作り方」と題し、小冊子作成のポイントを講演されました。

（言葉の使い方について）

・あるタレントがインターネット上で「コスプレでセーラームーンになりました。」とUPした所、セーラームーンファンから批判が続出、ネット上で炎上しました。ところが、別のタレントが、「セーラームーンになりきっちゃいました。」とUPした時には全く批判がでなかったそうです。

このような断定的な表現は反発を生むことがある、というケースでした。

また、日中関係が悪化してきた時、中国へ進出している日本企業の日本人社長に、中国人従業員が「社長は中国人が好きですか、嫌いですか」と問い詰められた時、「中国人は嫌いだ。けどおまえ達は好きだ」と答えたそうです。

ある料理レポーターの話として、好きではない料理が出された時のコメントとして、「好きなやつにはたまらない味だ。」とレポートしたそうです。

（はやり言葉には消費期限がある）

去年の流行語は「ワイルドだろお」だったのですが、今では杉ちゃん本人も使わないそうです。因みに、今年の流行語大賞は「今でしょ！」が本命だそうです。

表現力豊かな日本語のおもしろさと、言葉の使い方一つで、感じ方が大きく違うと言うことがよく理解できました。

3. グループワーク

最後に、6人ずつのグループに分かれ様々な課題を与えられ、ディスカッションをしました。新聞記事の見出しを考えたり、直感的インタビューをしたり、どんな見出しが人を引きつけることができるのか、或いはどうしたら短い言葉で相手に知らせる事ができるか、等、言葉の難しさと素晴らしさを実感する事が出来ました。

4時を15分過ぎたところで閉会となり、その後、缶ビールとおつまみで、更に親交を深めました。

